

ワークショップ6 効果的かつ効率的な医療安全教育を目指して

7月30日(金) 18:20~19:50 4チャンネル

WS-06(要旨) 効果的かつ効率的な医療安全教育を目指して

Development of effective and efficient patient safety education

司会：田中 和美（群馬大学）

医療が高度化、複雑化する中で患者や社会にとって価値ある質の高い医療を安全に提供するために医療安全の重要性が益々高まっている。厚生労働省は医療者に対し年2回の医療安全研修の受講を義務付け、医療現場における医療安全教育は拡充されつつある。医学生卒前教育においても系統だった教育を行うことが望ましいが、未だ内容、時間ともに十分とは言えない。多くの医学部においては医療安全の卒前教育を担当するための専門部署がなく、限られた人材と時間の中で系統だった教育を行う必要に迫られている。医療安全教育の教材として「WHO患者安全カリキュラムガイド（多職種版）」等が活用されているが、具体的な教育への落とし込みについては、過密なカリキュラムの中での教育時間の確保や、教育に必要な人材や教材の確保が課題となっており、各大学で進められているカリキュラム改革における課題の1つともなっていると思われる。そこで、各大学が限られた人材、時間のなかで効果的に医療安全教育を提供するための工夫についてワークショップの形での意見交換を行いたいと考えた。医療安全の実現にはチームワーク、リーダーシップをはじめとするノンテクニカルスキルの向上が不可欠であり、行動科学やシステム思考等様々な側面からのアプローチが必要となる。このため取り扱う内容が広く全容がつかみにくい面があるが、すべての領域に溶け込んでいるともいえるために、教育者がそれぞれの専門分野を下敷きとして医療安全教育を担当していくことが可能であると考えられる。ワークショップでは、各大学が行っている取り組みや工夫についてもシェアして頂き、参加者の皆様の授業を組み立てる際の役に立つような情報交換の機会としたい。また、代表者が所属する群馬大学医学部では先の医療事故に対する医療安全体制改革の一環として平成29年に医療の質・安全学講座が開設された。この講座を中心として1年次からの系統だった医療安全教育の構築に取り組んでいるところである。ワークショップでは、本学での実践についても話題を提供するとともに、世界の教育の動向も紹介したいと考えている。

ファシリテーター：小松 康宏（群馬大学）
Yasuhiro Komatsu (Gunma University)

岸 美紀子（群馬大学）
Mikiko Kishi (Gunma University)

清水 郁夫（信州大学医学部附属病院）
Ikuo Shimizu (Shinshu University Hospital)

高村 昭輝（富山大学）
Akiteru Takamura (University of Toyama)